令和7（2025）年

5月 広報あしや

1022号

にこにこ！笑顔で！

若葉保育所と鯉のぼり

このような植物には注意してください！

オオキンケイギクをみんなで駆除しよう！

オオキンケイギクは北米原産の多年草で、５月～７月ごろにかけてコスモスに似た黄色の花を咲かせます。繁殖力がとても強く、一度定着すると、日本在来の野草の生息場所を奪い、周囲の生態系を一変させてしまいます。

そのため特定外来生物に指定され、栽培や野外に放つことなどが禁止されています。所有地などに繁殖している場合は、駆除（除草）をお願いします。

▷**駆除の方法**　根から株ごと引き抜き、種子や根を落とさないように袋に入れて密閉し、枯らした後に燃えるごみで出してください。

△駆除の方法と芦屋町の沿道に生えている様子

▷**問い合わせ**　環境・公園係（☎２２３－３５３８）

不正大麻・けし撲滅運動

～きれいなけしの花にご用心～

きれいな「けし」の花を見かける季節になりましたが、「けし」には植えて良いものと、悪いものがあります。

▷**植えてはいけない「けし」の特徴**

- 草丈が大きく１m以上になる
- 全体が白っぽい緑色をしており、毛がない
- 茎を抱き込むように葉が生えている
- 葉が大きく長楕円形で、まわりの切れ込みが浅い

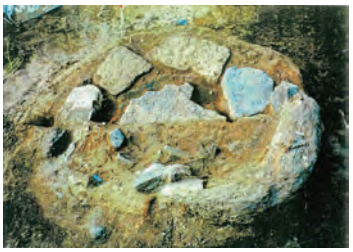
主に花びらが薄紫色の「アツミゲシ」が自生しています。このような「けし」を見かけた人は、連絡してください。

▷**問い合わせ**　宗像・遠賀保健福祉環境事務所（☎〈０９４０〉３６－２０４５）

芦屋町指定有形文化財の新規指定

芦屋町では、町文化財保護委員会の答申に基づき、２月28日に２件の文化財を新たに町指定有形文化財に指定しました。

①金屋遺跡出土品
（芦屋釜鋳型（写真左）、こしき炉基底部（写真右））



金屋遺跡は中ノ浜にあり、芦屋釜の工房跡が発見された遺跡です。

芦屋釜鋳型は、釜づくりのための鋳型の一部です。その鋳型は、芦屋釜の代表的な形である「真形（しんなり）」であること、胴部に霰文様（あられ）が表されていることがわかります。

こしき炉基底部は、金属を溶かすためのこしき炉（溶解炉）を据えるための土台の部分です。操業時には、この基底部の上に構築したこしき炉で、金属を溶解し、鋳物製品を製作します。

いずれも、芦屋釜などの鋳物の製作がこの場所で行われていたことを示す貴重な資料です。

②合戦ヶ原出土素文平釜（かっせんがはらしゅつどすもんひらがま）

素文平釜は、芦屋町の合戦ヶ原（現在の芦屋中央公園のあたり）から発見されました。この釜は茶の湯釜ではなく、煮炊き用の釜と考えられています。作りは精巧で、芦屋釜と同じ技法で作られたと考えられ、芦屋鋳物師に関連する作品として貴重な資料です。

紹介した文化財は、芦屋歴史の里で展示しています。また、10月15日から開催する芦屋歴史の里特別展「金屋遺跡展」で詳しく紹介する予定です。

▷**問い合わせ**　芦屋釜の里・歴史の里係（☎２２３－５８８１）

広報あしや／●毎月１回（25日）発行　●芦屋町役場企画政策課シティプロモーション係　☎093（223）3571 〒807-0198 福岡県遠賀郡芦屋町幸町2-20 ●印刷　社会福祉法人福岡コロニー